



津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2019～2020

例会日/毎火曜日

例会場/都シティ津 津市大門7-15

事務所/津市大門10-7

ピッチャーズビル2階

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/今野信太郎

幹事/樋口直人

E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

第2585回例会 2019年11月12日(火) 天候 晴

— 11月はロータリー財団月間 —



例会予定

- 11月16日(土) 地区大会 (11月19日(火) 例会変更)
- 11月26日(火) 地区大会報告
- 12月3日(火) 月間関連卓話 田島 和雄会員
生田流師範 磯輪 春男様
- 12月10日(火) 会員卓話 鋤柄 憲一会員

進行担当

[澤田副SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング 我等の生業

来訪者

[今野会長]

ゲストスピーカー 吉川 秀治様
(日本労働組合総連合会三重県連合会 会長)

津 RC 林 昭寿君
津北 RC 山口 久彦君

出席報告

[羽根委員長]

11月12日 出席率 46名中 33名 71.74%
10月29日 修正出席率 47名中 40名 85.11%

委員会報告

[樋口幹事]

11月16日(土)・17日(日) 地区大会説明

ニコBOX

[野地副委員長]

林 昭寿君(津RC) メークアップにお邪魔致しました。地区大会いよいよです。宜しくお願ひ致します。
山口 久彦君(津北RC) 久しぶりにメークアップにお邪魔します。

今野信太郎君 ・日本労働組合総連合会三重県連合会会長 吉川秀治様をお迎えした。本日の卓話よろしくお願ひ申し上げます。

・天皇皇后両陛下の即位パレードを祝して。

樋口 直人君 本日は外来卓話です。日本労働組合総連合会三重県連合会会長 吉川秀治様、よろしくお願ひ致します。

伊藤 孝行君 連合三重会長 吉川秀治様をお迎えして。

会長報告

[今野会長]

- ◆ 日本労働組合総連合会三重県連合会会長 吉川秀治様、後程卓話をお願い申し上げます。
- ◆ 今回は、ポリオの歴史です。ポリオは古代エジプトの描画や彫刻に四肢が萎えている以外は健康な人々や幼くして杖をついて歩いている子どもが描かれています。ローマ帝国のクラウディウスも幼少の頃、病から足を引きづっているとの記載があります。ポリオの最初の臨床記述は1789年イギリスのマイケル・アンダーウッド医師で、1840年ヤコブ・ハイネによって最初の医学的報告がなされました。1900年頃にヨーロッパとアメリカでの大流行し、1909年にウィルス疾患であることが証明されました。古代ファラオの時代から数千年の間、多くの命を奪ってきた天然痘も1801年ジェンナーが天然痘ワクチンの作製に成功し、1980年に根絶されました。間もなくポリオも根絶を迎えようとしています。次の感染症としてはエイズ、エボラ出血熱、デング熱、中東呼吸器症候群(MERAS)、鳥インフルエンザ、ジカ熱と人類と危険な感染症の戦いは終わることがありません。そこで、R財団への寄附支援が今後とも必要と思われるので皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告

[樋口幹事]

- ★ 11月16日(土) 例会の件 (11月19日(火) 例会変更)
- ★ 11月16日(土) 11月17日(日) 地区大会の件
- ★ 11月26日(火) 定例理事会開催の件
- ★ ポリオ撲滅2020年新春チャリティーコンサートの件
- ★ 例会変更 4件

日本労働組合総連合会三重県連合会 会長

吉川秀治様をお迎えして、

何川 高君、日比隆幸君、吉村哲夫君、佐々木喬君
奥田邦雄君、竹内敏明君、高林 学君、伊藤 仁君
千原一典君、大熊将弘君、羽根昌江君、野地洋彰君
日南田隆司君

健全な労使関係が win-winに必要不可欠



日本労働組合総連合会
三重県連合会

会長 吉川 秀治 様

「この国では、普通に仕事をし
て、普通に暮らしていくことが、
なんでこんなに大変なんだろうか」
非正規雇用で働いていた30歳の
若者が職を失いつぶやいた言葉である。

● 現代社会の縮図

経済最優先を背景とした労働市場の規制緩和がつづき、グローバル競争の名のもと、低賃金・不安定雇用の非正規労働者を多用し、儲けが出ても配分されないという、なりふり構わぬ資本主義となっている。結果として雇用労働者の約4割にあたる2000万人にもおよぶ非正規労働者と大量のワーキングプアを生み出した。さらに、多くの中小・零細企業は、儲けの配分はおろか、逆に多くの犠牲を払っている。同時に働く者にもそのしわ寄せがおよんでいる。

昔、経営資源は「ひと・モノ・金」と言われ、「ひと（人財）」が重要視された。しかし今はどうだろうか。4割の労働者の多くが雇用の調整弁ともいえる働き方を余儀なくされ、日々不安の中で働き暮らしている。

現在、日本における一定規模の企業・団体は150万社程度と言われているが、働く職場に労働組合があり、自らの活動で賃金をはじめとする、福利厚生や職場環境改善などの労働諸条件を労使で話し合える環境が整っているのは、わずか2万6千社程度（1.73%）に過ぎない。中小企業で働くほとんどの人は労働組合の無い企業・団体で働いているのである。これでは社会問題化している、いわゆるブラック企業で働く労働者の賃金未払い問題や、過重労働と言った労働問題に対峙できるはずがない。連合三重の労働者サポートセンターに、日々寄せられる労働相談の85%以上が未組織労働者からの相談であり、低迷する組織率が雇用や労働の現場を劣化させつつある。

● 労働組合の存在意義

近年オープンショップの組織率が年々低下傾向にある。他方でユニオンショップの組織も全体としてはやはり組織率は低下傾向にある。加えて、民間労組を中心に役員・委員の交代サイクルが短期化している傾向があり、組合活動の原点であり日常活動である「職場コミュニケーション」が不足している。また、本来組合員の利益代表の視点を重視すべき労働組合が、様々な経営や労務・安全衛生課題に対して、十分な労使の話し合いをしないままに経営者視点で職場対策を講

ずる例もある。組合員の雇用・生活を守るための労働組合が持つ経営のチェック機能・けん制機能が失われつつある。同じ職場で働く非正規労働者は更に深刻である。増え続ける非正規労働者の多くは組合員化されておらず、仕事における日々の不満や意見を伝える拠り所がない。「一人でも入れる労働組合」である合同労組は、そうした職場環境の変化を背景に成長し、労働委員会への申し立てが増加している。

● 真の経営パートナーとしての労働組合の機能

私が単組で委員長を務めていた当時、労使関係における基本スタンスを「労使の信頼関係」に置いていた。信頼関係とは、妥協や迎合を意味するのではなく、お互いが背負う立場で接し議論することをさす。労使協議の事項によっては議論が噛み合わない場合もある。そのような場合、決裂するのみでは生産性はゼロである。労使双方が一旦持ち帰り、接点や代替案・妥協策を探る。この繰り返して生まれる労使合意は、労使が知恵を出し、熟慮を重ねて導き出した結果であり尊く貴重なものとなる。同時に、堂々と職場組合員に説明できるものに仕上がる。この姿こそ「健全な労使関係」であり、経営のパートナー機能である。労働組合が組合員の利益代表視点を軽視し、経営者的視点に立った時、労働組合のもつ経営に対するチェック機能やけん制機能が働かず、結果として職場の不満は溜まり、我慢できない従業員が会社と利害関係の薄い合同労組などへ駆け込まざるを得ない事態へと発展する。

● 労使紛争・審査事件

県労働委員会に申立てられる労使紛争あっせんや、不当労働行為審査の多くは合同労組であり、当事者が勤める会社や団体に労働組合がないケースが多い。それまで労使関係など意識もしていない経営者は、ことの重大さに気づくことなく初動対応を軽視し、街宣車やデモによる要求を受け、初めてことの重大さに気づく。こうしたケースは三重県に限ったことではない。労働組合のない多くの会社経営者が労使関係や労務問題を軽視していた結果として、起こるべきして起こる紛争・事件である。

● まとめ

「普通に仕事して、普通に暮らしていくことが、なんでこんなに大変なんだろうか」、この言葉の重みを、今一度考える必要がある。

集团的労使関係下にある企業・団体は、健全な労使関係構築に向けた不断の努力、そして未組織においては、健全な企業内組合づくり、このことが良好な労使関係のもとでの企業発展、win-winに繋がるものと信じている。

―― 秋季はぐるま会開催 ――

日時：令和元年11月8日（金）
場所：ジャパンクラシックC.C（クィーンコース）
団体優勝 津RC
当クラブ参加者 林 裕行 松田英明 村木正二
何川 高 岡部宏司 澤田勝志
田口浩司

例会変更のご案内

名張中央RC 11月13日（水）特別休会
11月27日（水）→25日（月）12：30～ 名張産業振興センターにて 名張RCとの合同例会のため
※ビジター受付は、27日（水）12：00～12：30まで名張シティホテルフロントにて行います。
松阪山桜RC 12月12日（木）本居宣長記念館にて 青少年奉仕委員会のため
鈴鹿シティRC 12月18日（水）クラブ蝶々にて クリスマス例会のため
※ビジター受付は、鈴鹿サーキットホテル1Fロビーにて18：30～19：00まで行います。
松 阪 東RC 12月16日（月）18：30～ 華王殿にて 忘年家族例会のため